

2026年2月11日作成 Ver.1.1

《情報公開文書》

全身性エリテマトーデスにおける
抗I型インターフェロン抗体と疾患活動性との関連に関する検討

研究の概要

【背景】私たちの体には、ウイルスなどの病原体から守るための「I型インターフェロン(IFN)」という物質があります。全身性エリテマトーデス(SLE)では、この物質が過剰に作られることで、自分自身の体を攻撃してしまう原因になっていることがわかっています。最近の研究では、SLE患者さんの中に、このI型IFNの働きを抑える抗体(抗I型IFN抗体)を持っている方がいることが報告されています。同抗体を持っている患者さんは、病気の勢いが抑えられている可能性がある一方で、ウイルスなどに対する抵抗力が弱まり、感染症にかかりやすくなる可能性も指摘されています。しかし、SLE患者さんにおいて、実際に抗I型IFN抗体がどのように影響しているかについては、十分な研究が行われておらずまだ詳しくわかりません。

【目的】SLEにおける、抗I型IFN抗体と病気の状態や合併症・副作用との関連を明らかにすること。

【意義】本研究により、抗I型IFN抗体がSLEの状態や合併症・副作用と関連することが示されれば、抗I型IFN抗体がSLEの活動性を示す新たなマーカーとなりうる可能性があります。また個々のSLE患者さんにより合った適切な治療選択に繋がる可能性もあります。

【方法】全国の医療機関が協力して構築したLUNAレジストリーで採取および保存された血液検体を用いて、抗I型IFN抗体を測定します。また同レジストリーで収集された臨床情報を用いて、抗I型IFN抗体の有無と種々の臨床情報との関連を解析します。

対象となる患者さん

全国各参加施設での「全身性エリテマトーデス患者の疾患レジストリー構築」と「Lupus registry of nationwide institutions(LUNA)レジストリーを用いたクリニカルバイオバンクの構築」に登録されているSLE患者さん

研究に用いる試料・情報

●研究に用いる情報

下記の臨床情報を診療録より収集します。

- 年齢
- 性別
- 身長
- 体重
- 罹病期間
- 飲酒歴
- 喫煙歴
- 妊娠出産歴
- 血液検査
- 尿検査
- 合併症
- 有害事象
- 疾患活動性
- 治療内容
- 患者アンケート結果

●研究に用いる試料

LUNA レジストリーで採取・保存されている血液検体を用いて、抗I型IFN抗体を測定します。

本研究で利用する試料・情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

試料・情報の利用開始予定日

本研究は2026年2月19日より「研究に用いる試料・情報」を利用する予定です。

あなたの試料・情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2027年6月30日	
研究実施体制	
研究責任者	所属：長崎大学病院 リウマチ・膠原病内科 氏名：梅田 雅孝 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095 (819) 7262
試料・情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
問い合わせ先	
【研究の内容、試料・情報等の利用停止の申し出について】 長崎大学病院 リウマチ・膠原病内科 梅田 雅孝 〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095 (819) 7262 FAX 095 (849) 7270	
【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療相談室 095 (819) 7200 受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）	